

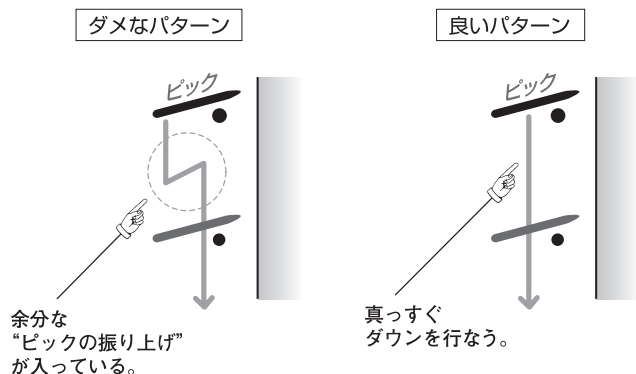
## 注意点1



### 基礎的なダウンの エコノミーを覚えよう

エコノミー・ピッキングの基礎的な動きは、隣の高音弦に移る際に、ダウン・ピッキングを1回で行なうというシンプルなもの。そのため、1音目のダウン後に、ピックを振り上げてはならない(図1)。振り上げるといことは、オルタネイトのアップの空振りを入れてしまうということになり、無駄な動きが生じているので、エコノミーではなくなってしまいます。次に注意する点は、最初にダウンをしたらピックを隣の弦に当てて、次のピッキングまで待機することだ。“1音目のダウン→待機→2音目のダウン”という流れを確実に右手に覚え込ませよう。慣れるまで、この2音をつなぐダウンのエコノミー・ピッキングを何度も練習してほしい。

図1 エコノミー・ピッキングの軌道



## 注意点2



### 人差指の指先で 軽く2弦をミュートしよう

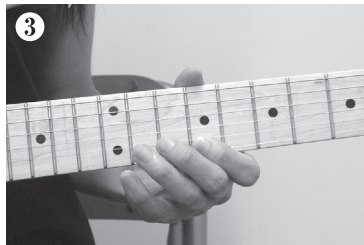
このフレーズでの左手の基本フォームは、2弦1音&1弦2音というトライアドとなっている。2弦はすべて中指での押弦となっているので、この中指を中心にコード・チェンジを行なうと考えると、スムーズなポジション・チェンジができるだろう。特に難易度が高いと思われる部分は、小節の変わり目の中指によるスライドだ(写真①~③)。写真は1小節目から2小節目にかけてのスライド時。2弦12フレットから2弦10フレットにスライドし、1弦9フレットに弦移動する部分では、人差指の指先で2弦に軽く触れて、ミュートすると良いだろう。エコノミー・ピッキングでは、特に左手のミュートが大切になってくるので、右手だけではなく左手の動きにも注意が必要だ。



① 2弦12fを中指で押弦。中指以外は移動に備える。



② 2弦10fにスライド。人差指の押弦準備を忘れずに。



③ 人差指の押弦時には、指先で2弦をミュートしておこう。

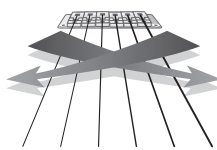
## ~コラム18~

### 地獄の戯れ言

たまに生徒から“エコノミーとスウィープの違いは?”と質問されることがある。どうやら適当に言い分けられていることが多いようだが、微妙に違いがある。スウィープとは、ピッキングの動きが“ほうきで掃く”動作に似ていることから名づけられたテクニック(図2-a)。そのため3本弦以上を一気に上昇&下降する分散和音を示すことが多い。それに対してエコノミーは、2本弦以上を1回のダウンやアップで弾くことを指す(図2-b)。つまりエコノミーの中の1種類がスウィープとなる。しかし一般的にエコノミーは、スケールを上行&下行するようなフレーズを弾く時に呼ばれることが多いようだ。

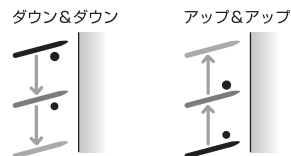
### エコノミーとスウィープの違いって……な~に?

図2-a スウィープ・ピッキング



3本弦以上を一気に上昇&下降するピッキング。

図2-b エコノミー



2本弦以上を1回のダウンやアップで弾く。